

市民と議会の意見交換会

10月21日(火)から10月23日(木)までの3日間開催

参加者：額娃会場38人 川辺会場32人 知覧会場49人

市民参加や情報公開など開かれた議会を進めるため、はじめての意見交換会を3地域で開催しました。議会運営委員長による議会基本条例の説明のあと、担当議員から9月定例会について報告があり、各地域2項目のテーマについて意見交換を行いました。

市民の皆様からのご意見・ご要望等

額娃地域内の中学校の在り方について

【額娃会場】

・知覧地域では約30年前から学校の再編、適正規模について語られてきていた。人口が減少していくのは分かっていたのに議論が遅いのでは。

・額娃地域の3中学校で生徒数331人、教員44人、知覧中学校が生徒数322人で教員25人。同じ生徒数で教員が19人も多い。単純に500万円の給料としても約1億円の削減になる。
・現状ではクラブ活動ができない。専門の教員もいない。
・火葬場の横に中学校を建設するという話はあるのか。



・既存の中学校を利用する案と新たな場所に建設する案と二つの選択肢があると聞く。財政的に考えて、費用も倍かかるといふのに、新たな場所に建設するという選択肢があること自体が理解できない。
・統合中学校開設準備委員会の30人の人選は非常

に影響があり大事なことを考える。人選については、居住地や職種など公平性のある配慮を強く要望する。

・知覧、川辺は中学校を統合した時に何も問題はなかったか。統合する前に各学校との交流を図るような施策に予算措置してほしい。

・通学においては公共交通機関が利用できるようにしてほしい。

・少子化だから統合するという事だけでは何の解決にもならない。子どもの教育条件等について何が一番いいのかということとを考慮して議員間でも勉強して考えて欲しい。

南九州市議会議員定数について

【額娃会場】

・現在の定数22人について議員は適正と考えるのか。10年、20年先を見据えたしつかりとした目で議員数や行政の職員数について考えてほしい。
・隣の南さつま市が本市

よりも人口が1000人程度少なく20人ということであれば見解は見えてくるのでは。しかしながら単純に減らせばいいというものではない。
・はつきり言って私たちが議員定数については語れない。

その他の意見

【額娃会場】

・テーマについて固定されていたが、地域からの切羽詰った問題とかを引き出して、その問題について意見交換したい。



額娃会場のようす

少子化に伴う学校再編について

【川辺会場】

- ・ 一学年に5、6人いれば複式は逃れないものの、再編はしなくてもよいと思っていたが、1、2人となってくる現状では、真剣に考えなくてはならない時期にきている。議会も前向きに考えていたきたい。
- ・ 小学校が無くなれば地域の文化が無くなり、ますます過疎化が進む。地域から子どもの声が聞こえなくなるため、基本的に統廃合は望ましくない。
- ・ 神殿校区では、児童数増に向けて山村留学などに20年間取り組んで来ているが、現状はデータで見ると以上に厳しい。子ども達の将来や地区が更によくする方法を考えたときに、統合はむしろ有利との思いである。
- ・ 移住定住対策については、企業との連携や企業誘致を本気でやれば可能性があると思う。例えば、複式学級がある校区を特



- 別区に指定して、移住定住促進対策補助金の上限を80万円から200万円に引き上げるなど。
- ・ 昭和58年に瀬戸山の小学校が廃校となった。旧瀬戸山校区から清水校区へ移住してきたときは小学生が60数名いたが、今は20名となり、当時は清水に来たら大丈夫だなど思っていたが、現状は瀬戸山のようになってきた。統廃合については子ども達や子を持つ親に判断してもらった方がいい。
- ・ 学校をなくしていくというところは地方が崩れていくということである。

南九州市議会議員定数について

【川辺会場】

- ・ 手裏小学校は特設校で、小規模校ならではの教育が実践されている。特色ある地域の素材や父兄の力を借りながら、今こそ学校づくりを考える時期である。
- ・ 現行の議員数がいないと政治はできないか。できないかと思っている方もいれば、こんなにはいらないのじゃないかと思っている方もいるのでは。私はまだ減らしていいと思う。
- ・ 住民の意見を最大限尊重する形にするには少人数であってはならないと思う。議員、得手不得手もあり、定数を減らすことにより1議員がまかなっていけない状況になっては大変なことだろうと思うので、少なくとも現行より減ることは良くない。
- ・ もう少し少ない議員数で報酬を上げれば、質の



川辺会場のようす

- 高い議員活動ができるのではないか。
- ・ 合併して大きなまちになり、周辺部は取り残された気分になっている市民もおられるのではないかと思います。そういった意味からも市民の声を市政に反映させていくことが求められているときだと思うので、増やしてもいいのではという気もする。
- ・ 一般質問の状況から、市民を代表して発言をしていると思うし、活発にやっている。皆さん強い思いがあり、それを市勢

- 発展にどう結びつけるかという問題を詰めていけば、必ず成果があると思うことから、現状の22人でもいい。
- ・ 甌島の例だが、議員は自治会代表のような存在であったのが、今は合併で1人いるかないかである。議員定数を減らせば減らすほど、過疎化が一段と進むのではないかと思う。
- ・ 議員定数は現行より多くても少なくともどちらでもよい。要は議員が何をしたかだと思う。

定住促進対策について

【知覧会場】

- ・ 出生祝い金を第2子からではなく第1子からにすればいいのでは。
- ・ 農業者研修制度については、原則4月からの受入としているので、随時受入とすれば研修生の増加に繋がる。
- ・ 移住を考えている人にとって南九州市のホームページは情報が検索しにくい。大幅な改善が必要だと思う。
- ・ 転入してきたが、どこに何科の病院があるのか、また、保育所や小学校がどこにあるのかわからない。届を提出した時に地図でわかるような冊子がほしい。
- ・ 意見交換会は年に複数回行ってほしい。また、市内には3つの高校があるが、これからの将来を担う若者との意見交換会を実施して意見を聞いてみたいと思う。
- ・ 教職員住宅があるが、空いている箇所が結構ある。先生方の居住をどう

にできないか。自分たちの若いときには必ず近くに先生がいた。

・自治会が活性化していると感じたことはない。色々と事業は展開していると思うが、我々には伝わってこない。もう少し自治会に足を踏み入れて現実をもっと見ていただきたい。

・水洗化されていない市営住宅がある。トイレを水洗化すればもっと定住者が増えると思う。

・学校の給食費について無料とまでは言わないが助成は考えられないか。

・徳之島空港は子宝空港と言われ、出生率の高い地域である。南九州市を上回る産業があるとは思えないが、そういった所の取り組み事例を調査するなり、研修に行つて実践することで何かのアイデアが生まれると思う。

・若者の住まない地域の振興は見込めない。

・田舎暮らしをしたいと考えている方はたくさんいる。都会の裕福な年輩の方を本市へ引っ張り込

めばいい。

・農業のまちとして多彩な食材がある。6次産業化を推進して付加価値を付け、本市特有の産品を開発できるように取り組んでいただきたい。



知覧会場のようす

少子化に伴う学校再編について

【知覧会場】

・再編の計画があれば教えていただきたい。

・学校の再編について何か基準があるのか。

・少子高齢化で地方が疲弊していく中、現状をどう打開するか、市民の生の声を届けることが大事。

その他の意見

【知覧会場】

・先日の台風時に避難準備情報が出ていることをインターネットで知った。

・無線が聞こえないときの対応はどうするのか。

・グリーンツーリズムの担当部署が4月から商工観光課に移るとのことだが、3地域分をまとめて相談できる場所と専属の係を設けて欲しい。

・意見交換会を校区単位で実施してほしい。参加議員は地元選出の議員で構わない。

・子育て支援が大切。医療費については病院窓口で無料にしてほしい。

・若い人たちが安心して農業が出来るよう価格保障制度を充実してほしい。

・住宅リフォーム助成の拡充をしてほしい。

・地域そのものを福祉施設にするような取り組みはできないものか。

●アンケートの結果

Q 今回の意見交換会のテーマはいかがでしたか。

関心があるのでよかった (51) 参加により関心がもてた (29) ほかのテーマがよかった (5)

Q 今後、意見交換会が開催された場合、参加しますか。

ぜひ参加したい (42) 内容によっては参加してもよい (54) たぶん参加しない (3)

Q 議員定数について、どうお考えですか (現在 定数22人)

現状の定数でよい (31) 増やしたほうがよい (3) 減らしたほうがよい (60)

【内訳】 15人 (4)、16人 (1)、17人 (2)、18人 (21)、20人 (21)、22人 (31)、24人 (2)

Q 今回のテーマ以外で、どのようなテーマに関心がありますか。(抜粋)

- ・定住促進対策について
- ・子育てについて
- ・少子高齢化対策について
- ・医療費について
- ・テーマは設けなくてよい
- ・議会のあり方について
- ・人口増対策について
- ・南九州市の産業振興、育成について
- ・地域経済の活性化について
- ・企業誘致について
- ・頤娃地区の今後の展望と頤娃高校について
- ・J Rの存続について
- ・農業所得の向上について
- ・本庁舎の一本化について
- ・庁舎建設について
- ・均衡ある発展のための総合支所方式の充実について
- ・地域の魅力を引き出す方策について
- ・校区公民館を活かした地域づくり
- ・自治会の合併について
- ・地域創生の施策について
- ・学校再編について
- ・子ども教育について

意見交換会にご参加いただき、大変ありがとうございました。今後はアンケートやご意見をもとに開催時期、回数及び場所等について検討し、より多くの方が参加できるよう努めます。

また、皆様からいただいた貴重なご意見はよりよい南九州市づくりのために今後の議会活動に反映させたいと考えます。